

県章・県旗



県章は、カタカナの(チ)と(ハ)を図案化したものです。県旗は、中央に県章を配し、地は希望と発展を表す空色、マークは菜の花の薄黄色でふちどっています。

(県章 明治42年1月28日制定)

(県旗 昭和38年7月29日制定)

県の花「なのはな」



昭和29年4月、NHKが中心となり一般から公募したもので、正式には決められていませんが、「菜の花」とされ、広く親しまれています。

県の木「マキ」



県の気候風土にあい、街路、公園、庭木など県民の目によくふれる木として選ばれました。(昭和41年9月29日指定)

県の魚「タイ」



千葉県にゆかりが深く、明るいイメージをもち、県の発展を象徴するにふさわしい魚として選ばれました。(平成元年2月23日指定)

～千葉県のシンボル～

県の鳥「ホオジロ」



県内に生息し、県民に最も親しまれている鳥として、この鳥が選ばれました。(昭和40年5月10日指定)